学校番号	3030

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究演習	単位数	１単位	年次	３年次 （文理科・後期）
使用教科書	「新詳世界史探究」（帝国書院）						
副教材等	「グローバルワイド　最新世界史図表」（第一学習社編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史を勉強するにあたって大切なことは、常に歴史的事象や現代に起こっている出来事について「なぜ」という視点をもって思考していくことです。そして、歴史から学んだことを生かして、世界の国の諸事情をふまえ、現在の日本のあり方を考えていきましょう。授業に積極的に参加し、個々の事象だけでなく、俯瞰的な視点をもって主体的・多角的に思考する機会を生かしてほしいと思います。また、考査前の知識の整理をきちんと行って、歴史という時間軸を大きな枠組で理解してほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
多くの資料に触れ、歴史的な感性を養うために必要となる知識及び技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
個々の出来事を暗記するだけでなく、同じ条件下（政治体制や国際情勢、地理的要因など）でどのような進展が見られるかを考察し、類推できる力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史を日本の歴史と結び付けて学ぶことはもちろんのこと、すべての歴史的事象が今を生きる自分自身につながっていることを意識しながら学ぶ主体的な姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化をふまえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する市民としての責務を果たそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	地球世界形成の模索	・冷戦の展開と平和の模索 ・グローバル化する国際経済とその課題 ・情報と科学技術によって結びつく世界 ・地球世界の課題の探究	a：冷戦構造のもとで進行した南北問題、軍拡競争、環境破壊、人口問題などの地球的課題について、歴史的背景や国際的対応を理解し、資料を用いて因果関係を説明できる。 b:冷戦期の対立や協調が地球的課題に与えた影響を多面的に考察し、国際秩序の変化や持続可能性の観点から課題を設定し、根拠に基づいて論理的に判断・表現できる。 c:冷戦の歴史と地球的課題の関係に関心を持ち、課題の解決に向けて意欲的に探究し、学びを現代の国際社会や自らの生き方に結びつけようとする主体的な姿勢が見られる。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度